第二次小平市観光まちづくり振興プラン【概要版】

小平市地域振興部産業振興課 令和6年3月



策定の目的

小平市は平成 26(2014)年3月に「小平市観光まちづくり振興プラン〜都会から一番近いプチ田舎〜(平成 26 (2014)年度から令和5(2023)年度)」を策定し、将来予想される人口減少を前にして、「観光」ではなく、「観光 まちづくり」に取り組むことによって地域活性化を推進してきました。

「観光まちづくり」の狙いは、市民自らが自分の暮らすまちの良さに気付き、それをきっかけとして誇りや愛着 を持って「住み続けたい」と思い、さらに良さを広め、地域内外の人的交流を活発化し、新たに小平市に「住んで みたい」と考える人が増加することによって地域の活性化を図るものです。第二次小平市観光まちづくり振興プラ ン(令和6年度から令和9年度)では計画期間の4年間に、これまでの視点を踏まえつつ新たな視点も取り入れた 方策を示すことを目的としています。

現状・課題

現状

学園都市

交通アクセス良好

卸売業・小売業者が多い

最先端技術をもった 企業の集積

多様なコンテンツ (自然、歴史文化、食)

平らな地形

外国人住民数が多い

教育環境が整っている

課題

- ・少子高齢化、現役世代人口の減少
- ・消費につながるコンテンツや回遊するための仕掛けが少ない
- ・若者来訪者が少ない
- ・関連分野・組織との連携

- 知名度が低い
- ・遠方来訪者の目的となる固有資源が少ない
- 市民の参画

基本理念・キャッチフレーズ

基本理念

「訪れたい、住み続けたい」の観光まちづくり

市民に市内各地を「訪れたい」と感じていただくことは、まちの価値を知り、本市に住んでいることを誇りに思 い、「住み続けたい」につながります。また、市民以外の方の「訪れたい」気持ちを引き出すことは、市民と市外の 交流を生み出し、魅力の再確認ができます。そのためには、本市の知名度を高め、価値や魅力を向上させることが 必要で、それが市民の「住み続けたい」にもつながります。

キャッチフレーズ

ふらっと小平・東京プチ田舎

市内の魅力ある場所へ気軽に(ふらっと)訪れてほしい、という思いと、地形が平ら(flat)である特徴を押し 出し、東京に在りながら豊かな緑に囲まれた環境を享受できることなど、魅力を伝え、認知度向上に繋がる訴求力 のあるキャッチフレーズとしています。

課題を踏まえた基本目標・基本施策

基本目標1 来訪者満足度の向上

地域資源を磨き上げ、来訪者の受け入れ体制を強化することで、来訪者の満足度向上を目指します。

施策1 協働等による観光まちづくりの振興

市民との協働を図り、特に、学生等を取り入れた観光を振興します。

施策2 情報発信の強化

内容やターゲットとなる年齢層に合わせて、発信情報に適した媒体を使用します。

施策3 観光資源の活用や広域連携の推進、回遊性の向上

地域資源の活用・磨き上げを行い、事業者や観光施設等を繋げます。有機的な連携と回遊性の向上を図るこ とで、来訪者の満足度の向上に繋げていきます。

施策4 子どもや子育て世代に向けた観光まちづくり戦略の推進

子どもや子育て世代が本市に興味を持つことができる取組に力を入れていきます。

基本目標2 住民快適性の向上

地域資源を活用することで、いつまでも住み続けたいと感じられる住民満足度の継続を目指します。また、 まちに関心を持つ住民を増やすと同時に、住民が誇ることのできる活力あるまちを目指します。

施策5 市民主体性の醸成

本市を魅力あるまちにするために、市民が主体となるまちづくりを推進します。

施策6 特色ある自分たちのイベントづくり

既存のイベントを活用することはもちろん、市民等がイベントの企画段階から関わり、地域のにぎわいを創 出していきます。

施策7 関連分野・組織との連携

関係団体や庁内関係部署と連携し、他計画等との整合性を図りながら、多面的なまちづくりを進めていきます。

アクションプランの展開

計画期間の4年間で、こだいら観光まちづくり協会等と連携し、基本目標を実現する取組として、42のアクショ ンプランを設定します。また、以下のプランを優先して取り組む重点プランとして位置づけます。

施策1 プラン1 観光関連ボランティア活動の推進

観光関連ボランティア活動の情報を統合し、気軽に参加 できる環境づくりを進めます。

施策1 プラン4 多様な組織との連携

イベント等を通じて多様な団体がつながることで、更な る相乗効果を生み出すことを目指します。

施策2 プラン6 パブリシティの強化

プレスリリースを積極的に展開するなど、パブリシティ の強化に努めていきます。



施策2 プラン7 メディア露出機会の拡大

メディア取材に向けて、窓口機能の整備や市とこだいら 観光まちづくり協会の連携強化、各大学との情報共有を 行うとともに、情報番組等で魅力あるコンテンツを発信 する機会の拡大を図ります。

施策3 プラン25 モデルコースやモデルエリアの設定 および情報提供

鉄道事業者や学生、市内の活動団体など、様々な主体と 連携し、地域資源などをめぐるモデルコース等の設定を 行い、各主体間で連携した情報発信を行います。

施策5 プラン36 観光まちづくりに関する人材の育成 若者を含めた観光まちづくりに関する担い手の確保・育 成の強化を図ります。

第二次小平市

観光まちづくり振興プラン

概要版

小平市 令和6(2024)年3月